

1 学年・教科 7年・英語	2 単元名・活動名 Unit8 Part1 KotaとNickはそれぞれ何をしているところか読み取ろう。
------------------	---

3 活動のねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在進行形の肯定文を使った会話を聞いたり、使って話したり書いたりする。</li> <li>・内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。</li> </ul>
--

4 主に使用したアプリケーションなど デジタル教科書・ロイロノート・Kahoot!・Clips
--

5 学習の流れ・主な学習活動と内容	
学習の流れ	主な学習活動と内容
導入	○帯活動 ・Joyful Talk, Word Test ○P.120.121 新出語句 ・自力で読む練習 ・音とスペルの確認
本時の展開	○本文音読 ・各自 iPad のデジタル教科書で音読学習 ・全体で音の確認 ・レベル読みペア音読
まとめ	○内容確認 ・英問英答に取り組む。 ・共有ノートでグループ文作成 ・Kahoot! で理解度把握。 ・次回リテリングとライティングすることを提示。 宿題：本文音読 (Clips)

6 活用の様子 (写真等があれば交えて)





その他写真・資料

デジタル教科書で音読活動。自分のレベルに合わせて、読み方、速さ、文の再生回数を調整。



1時間の配布物は全てまとめる。

**Unit8 Part1**



共有ノートを使って、グループごとに色別カードを使用。新出語句を使って進行形の文を作成する。



Kahoot! で内容確認。○×問題、英問英答、並べ替えを出題

7 児童生徒の反応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書を使い、自分のレベルに合わせて音読活動を行うことができるので練習しやすい。</li> <li>・Kahoot! の最後の表彰者に入るために、競争心が自然と生まれ、授業にすすんで取り組むようになった。</li> </ul>
---

8 実施の手応え <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉音読練習から脱却し、生徒が主体的に学習方法を自己調整するようになった。</li> <li>・実際の発音を確認する前に、新出単語を読める語数が増えてきている。</li> </ul>
--

1 学年・教科 全学年・市民	2 単元名・活動名 たてわり班活動 ～オンラインで交流しよう～
-------------------	------------------------------------

3 活動のねらい

- ・自分のことを伝えたり、相手に感想を伝えたりすることで、お互いのことをよく知る。
- ・集団の一員として、協力してより良い学校生活を築こうとする態度を育てる。

4 主に使用したアプリケーションなど  
ロイロノート・zoom

5 学習の流れ・主な学習活動と内容

<活用例>

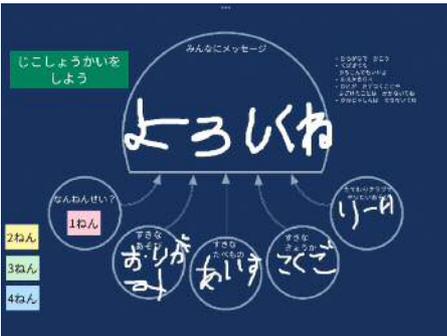
- ① たてわり班活動 自己紹介
- ② たてわり班活動 オンラインクイズ大会
- ③ 運動会 感想の交流
- ④ 学習成果発表会 感想の交流

<方法>

- ・ロイロノートでたてわりのクラスを作成。  
(例 1組をひとつのクラスに。約130人程)
- ・提出箱を用いて交流。
- ・zoomで各教室をつないで、実行委員が提出箱の内容を抜粋して読み上げるなどして共有。

※ 感染症対策と実施したもの。異学年交流ができるようになってからは、オンラインと直接交流を併用してたてわり班活動を実施している。

6 活用の様子 (写真等があれば交えて)





① 自己紹介の例

③ 運動会 感想の交流

④ 学習成果発表会 感想の交流

7 児童生徒の反応

誰かに読んでもらえるという意識をもって一生懸命書き込んだり、知っている友達を探して読んでいたりしていた。

8 実施の手応え

自己紹介：個人の興味に応じて、より深く相手のことを知ることができた。

クイズや運動会・学習成果発表会の感想交流：オンラインでも双方向の繋がりができた。即時性や、一人一人の感想をじっくりと手元で読むことができるという、オンラインならではの良さもあった。

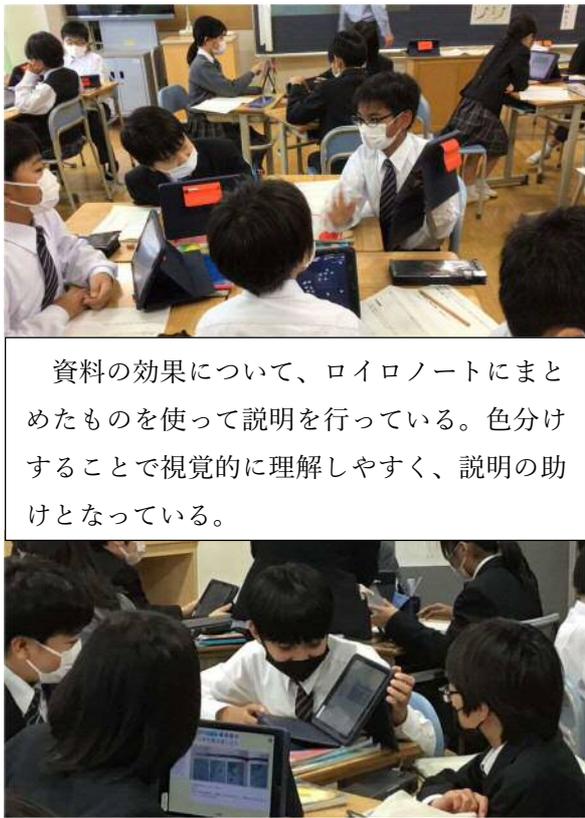
1 学年・教科 5年・国語	2 単元名・活動名 教材名『固有種が教えてくれること』 これからの社会～資料を使って、自分の考えを伝えよう～
------------------	---

3 活動のねらい ・ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・ 文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方を考えたりする。
--

4 主に使用したアプリケーションなど ロイロノート
------------------------------

5 学習の流れ・主な学習活動と内容	
学習の流れ	主な学習活動と内容
本時の展開	導入 前時にロイロノートで提出した文章と資料との関係をまとめたカードを見て、資料の分かりやすい部分を確認する。
	展開 資料の効果を友達と伝え合い、資料の効果について理解を深める。ロイロノートを用いて、選んだ資料をよりよくする方法を考え、共有する。
	まとめ 資料の効果について分かったことや新たに気付いたことなどについて、感想を書く。

6 活用の様子（写真等があれば交えて）



資料の効果について、ロイロノートにまとめたものを使って説明を行っている。色分けすることで視覚的に理解しやすく、説明の助けとなっている。

班の中で出た意見をもとに、ロイロノートを使用して、資料をよりよくするための話し合いを行った。他の資料のよいところを取り入れ、よりよい資料の形をまとめることができた。

7 児童生徒の反応 ロイロノートを活用し、資料と文章との関係性を複数の色を使って視覚的に分かりやすく表すことができた。それにより多くの児童が資料の効果に気づき、友達に考えを伝えることができた。
---

8 実施の手応え 色分けが容易で、試行錯誤がやりやすかった。また、カードの共有によって全体の発表や班内での話し合いが円滑に進み、多くの意見が出た。後の書く活動においても、自分の文章に合わせて資料を選んだり、配置を工夫したりすることで、説得力のある文章を書くことができた。
--